

デジタルファースト宣言について

1. 宣言の目的

人口減少、少子・高齢化の進行などの社会課題への対応、安全・安心な生活を守るための環境整備、Society5.0^{※1}時代にふさわしいスマートシティ^{※2}実現のため、AI^{※3}・ICT^{※4}等の先端技術などデジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進します。

宣言を契機に、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ「新しい生活様式」や今後の社会変容を見通した取組を加速するとともに、市職員の意識改革と情報活用能力（情報リテラシー）の向上を図り、市民サービスやまちづくりなどの各分野の取組にデジタルの力を活用してまいります。

2. 宣言文

次ページのとおり

3. 推進体制

- (1) 市長を本部長とするデジタルファースト推進本部設置（令和2年4月1日）
- (2) デジタル分野の専門人材等からアドバイスを受けます。

4. 今後の取組

既に導入しているAI・RPA^{※5}による業務効率化、デジタルマーケティングなどの取組を加速します。

さらに、デジタルファースト推進計画を策定し、持続可能な都市づくりのための取組を進めます。

-
- ※1 Society5.0：サイバー（仮想）空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。〔内閣府〕狩猟社会（1.0）、農耕社会（2.0）、工業社会（3.0）、情報社会（4.0）に続く、新たな社会（Society5.0：超スマート社会）。
- ※2 スマートシティ：都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、人々が安心・安全に暮らせる街。〔総務省〕
- ※3 AI（Artificial Intelligence）：識別・予測・実行の機能を持つ人工知能。
- ※4 ICT（Information and Communication Technology）：情報通信技術。通信技術を使って人とインターネット、人と人が繋がる技術。
- ※5 RPA（Robotic Process Automation）：人間がパソコン上で行うキーボード入力やマウス操作等の単純作業を自動化する技術。

出雲市デジタルファースト宣言

人口減少、少子・高齢化の進行などの社会課題への対応、安全・安心な生活を守るための環境整備、Society5.0 時代にふさわしいスマートシティ実現のため、出雲市は AI・ICT 等の先端技術などデジタルの力を最大限に活用し、「市民サービス」「まちづくり」「産業・観光」において“デジタルファースト”で取り組み、持続可能な都市づくりを推進することを宣言します。

令和2年6月12日 出雲市長 長岡 秀人

市民サービスのデジタルファースト

デジタルの力を活用した最適な市民サービスを提供し、市民の利便性向上を図ります。また、事務の効率化により、スマートでスピーディな行政運営を実現します。

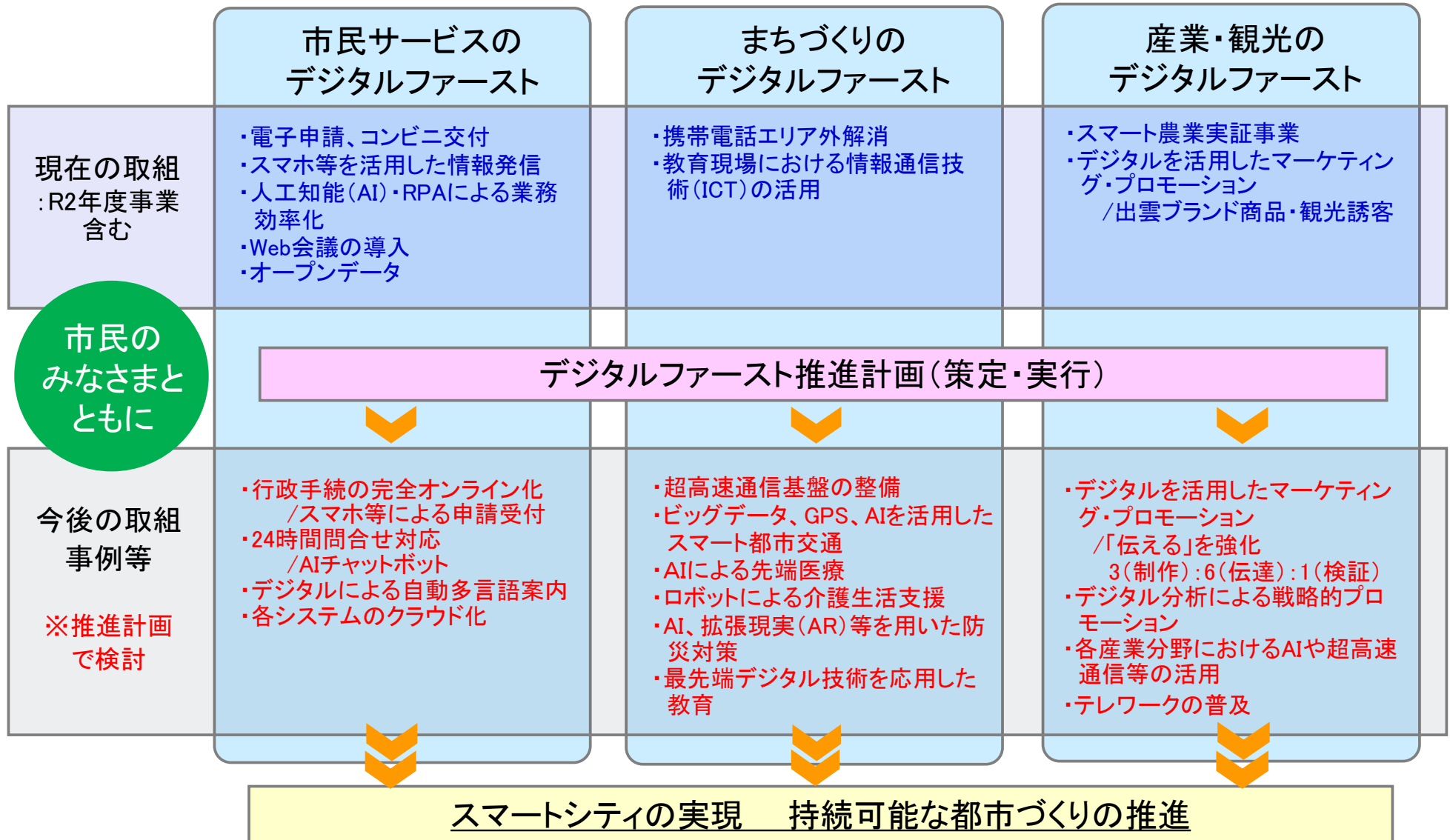
まちづくりのデジタルファースト

防災、福祉・医療、都市・交通、教育などあらゆる分野で、デジタルの力を最大限に活用することで、将来にわたって安全・安心な「活気あふれる出雲市」であり続けるまちづくりを市民の皆様とともに進めます。

産業・観光のデジタルファースト

AI・ICT などの先端技術を活用した次世代の産業モデルへのシフトを加速させ、産業振興を図ります。また、交流人口・関係人口のさらなる拡大に向けて、デジタルを活用したマーケティングやプロモーションを積極的かつ戦略的に展開します。

出雲市デジタルファースト宣言 取組のイメージ



※RPA: ロボットによる業務プロセスの自動化
 ※拡張現実(AR): 現実にデジタル情報を重ねて体験すること